



宝塚せいのりの里だより

そら

やよいの宙

vol.37
2025.1

発行／社会福祉法人 聖隷福祉事業団 宝塚せいのりの里

〒665-0826 兵庫県宝塚市弥生町2-2
TEL.0797-85-3656 FAX.0797-85-3562

ケアハウス宝塚・宝塚すみれ栄光園 10周年記念式典

ケアハウス宝塚と宝塚すみれ栄光園は、

2024年4月1日をもってこの度開設10周年を迎えました。

多くのご入居者、ご家族ならびに関係機関の皆様を支えられてのことと、心から感謝申し上げます。

10月15日に開設10周年記念式典を行い、ごぼう先生こと築瀬寛様をお招きし、

参加者全員でごぼう体操をして体を動かし、その後記念撮影を行いました。



ごぼう先生
(やなせひろしさん)

結いホーム宝塚

お花を楽しむ会

お花の先生による訪問指導を再開しました。

先生に直接指導をして頂き、より一層作品づくりに邁進しています!



ドクタードッグ訪問

ドッグセラピーを開催しました。犬とのふれあいを楽しみ、普段とは違った笑顔を見ることができました。



ケアハウス宝塚

安倉中学校演奏会

安倉中学校吹奏楽部の学生をお招きし、演奏会を行いました。

手拍子をされたり歌われる方もいて、楽しい時間を共有できました。



職場長紹介



宝塚せいのりの里
生活相談係
たかまつ えり
職場長 高松 英理

2019年より約5年半、聖隷ケアプランセンターすみのれの所長として、たくさんのご利用者の支援に関わらせて頂きましたことを

心より感謝申し上げます。10月からは宝塚せいのりの里の生活相談係の配属となりました。これまでと同じく全力でご利用者の支援に邁進して参ります。

10月より聖隷ケアプランセンターすみのれの所長に就任しました、平尾康充と申します。

ご利用者様がご自宅で安心していつもの生活の過ごしていただけるよう、引き続き信頼される事業所を目指して参ります。

どうぞよろしくお願いいたします。



聖隷ケアプランセンター
すみれ
ひらお やすみつ
所長 平尾 康充

パトントンタッチ!!



結いホーム宝塚 3階
やまだ やすお
職場長 山田 康雄

この度、宝塚栄光園より異動してきました。聖隷に入職して11年になります。これまでご利用者、ご家族との関わりの中で様々な成長する機会を頂きました。これからもご利用者がそれまでの暮らしを継続でき、その人らしく生き生きと過ごして頂けるよう3階職員とともに支援させていただきます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

スタッフブログ紹介

スタッフブログ
(結いホーム宝塚) ▼



スタッフブログ
こちらから ▼



Instagram
はこちらから ▼

宝塚せいのりの里

検索

<http://www.seirei.or.jp/tss/>

編集後記

2025年となりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。今号は宝塚すみれ栄光園とケアハウス宝塚の10周年記念行事を中心に取り上げました。ご入居者にはおなじみのごぼう先生をお招きし、一緒に体操と記念撮影も行い好評を得ておりました。

今後も園内行事や外出行事等を取り入れ、ご入居者が笑顔で楽しく生活ができるよう取り組んでまいります。

敬老会

9月14日&16日

宝塚せいの里では、長寿を祝い敬老会を行いました。
 それぞれの施設の各階ごとに、ご入居者へ園長からの祝辞、
 賞状の贈呈、記念撮影を行わせていただきました。
 また、お食事は敬老の祝い膳を皆様で召し上がっていただきました。

ケアハウス宝塚



結いホーム宝塚



宝塚すみれ栄光園



ケアハウス宝塚

清荒神清澄寺へ、紅葉を見に行きました。紅葉の後は、境内の参拝へ。「懐かしい」と昔の思い出話をされ楽しいひとときとなりました。



宝塚すみれ栄光園

11月に伊丹市の荒牧バラ公園へ外出をしました。寒い中でしたがきれいに咲いている花を見て、参加された方々はとても喜ばれておりました。



結いホーム宝塚

11月に武庫川髭の渡しコスモス園へコスモスを見に行きました。

天候にも恵まれ、「綺麗ね〜」と大変喜んでいただけました。



1階と3階合同で、神戸どうぶつ王国へ外出しました。生き物と間近に触れ合い、笑顔溢れる癒しのひとときとなりました。



第1回表彰式を行いました

宝塚せいの里では、この度初めてご利用者・ご入居者が創作された作品に職員投票を実施し、最も票を獲得された方へ賞状の授与を行いました。最優秀作品は、デイサービスをご利用されている足立淑子様です。これからも素敵な作品を、職員一同お待ちしております。

足立淑子様 受賞コメント

そんなに上手じゃないけれど、50歳から思い立って川柳作りを始めました。

ただ家庭の事情で大変な時期があって、10年ほど作っていませんでしたが、娘が川柳の本を出版したことが刺激になり、その娘からも「またしてみたら」と言われ川柳作りを再開しました。今では生きがいになっています。

川柳は紙と鉛筆があればできるので、是非皆さんも作ってみてください。



投句ありがとうございます。

俳句・川柳コーナー

余命では返しきれない 恩の数

東 幸代

今日在りていのら寿ぐ 敬老日

有働 和子

顔を見て 手を貸し耳を貸す介護

足立 淑子

